

ふくい 社会福祉

2017
3
No.423



平成28年度市町社協トップセミナー・会長会研修会
清川会長の挨拶

目次

特集
2～3p

子どもたちの未来を地域で育む活動 ～ 地域の居場所「子ども食堂」の取り組みレポート ～

3p まち・ひと・キラル☆
あわら市 渡邊 一幸さん

4・5p 離職介護福祉士等の再就職をサポート！
生活福祉資金貸付制度のご案内

6p 「平成28年度市町社協トップセミナー・会長会研修」開催！
こちら経営相談室です！

7p 寄付寄贈
ラジオ放送講座 いきいきセミナー受講生募集

8p サキドリ情報

子どもたちの未来を地域で育む活動

地域の居場所「子ども食堂」の取り組みレポート

日本の子どもの貧困率は16・3%、子どもの6人に1人が貧困状態にあるともいわれています。こうした状況の中、県内で地域に根ざし、子どもたちの「居場所づくり」として「子ども食堂」の取り組みが広がっています。今号では、その現状をレポートします。

「子ども食堂」とは

貧困や共働き、ひとり親家庭など様々な家庭環境により、ひとりで食事をする「孤食」の子たちを食の面から支援することを目的に「子ども食堂」の取り組みが始まりました。その活動は全国的に広がりを見せ、大きな注目を集めています。

県内でも、ボランティアが主体となつて、対象者を限定せず、皆で一緒に食事や交流を深める「居場所」の一つとして「子ども食堂」が運営されています。

県内での取り組み

県内の子ども食堂は、公民館やお寺など誰もが参加しやすい場所です。1〜2回の頻度で実施されています。（次図参照）

学校が終わる頃から子どもたちが集まり、配膳の手伝いをし、6時頃から食事が始まります。



ひまわりこども食堂 食事の様子

参加する子どもたちは就学前から高校生までと幅広く、多いところでは20人以上が集まり、みんなで食卓を囲みます。その後は会話を楽しんだり、ゲームをしたり、体を動かしたりと自由に過ごします。

また、退職した教師や大学生などの協力を得ながら勉強会を開催している子ども食堂もあります。子どもたちは宿題を持ち寄り、わからない箇所を教えてもらいながら学習に励んでいます。学習支援については、保護者からの期待も高く、今後、こうした活動に取組む子ども食堂が増えていくことが望まれています。

取り組みによる効果

子ども食堂の運営は、地域の支援者やボランティアに支えられています。



寺子屋食堂さばえ 食事づくりの様子

食材は地域の人が企業からの寄付等で賄っており、提供された食材から栄養のある献立を考えます。

最初は人見知りしていた子どもたちも、回を重ねるごとにボランティアの方々とコミュニケーションを図るようになり、今では子どもたちから悩みを打ちあけられることもあるそうです。

子どもたちからは「毎回待ち遠しい」「みんなで食べるから嫌いな物でも食べられる」、保護者からは「家庭や仕事の関係で子どもと一緒に食事をする事が出来ない時、大勢の人と食事をした

り遊べる環境があることは大変ありがたい」という声もあり、地域の居場所としての効果や期待が高まっています。



越前市「おうしお みんなの食堂」メニュー

子ども食堂の課題と支援について

子ども食堂は、孤食の改善のほか、地域の子どもと住民の交流の場となっており、その役割は今後ますます重要になってきます。

しかし、子ども食堂の開設には、調理器具の購入費用のほか、参加者やボランティア、寄付等を募るためのPR費用が必要になります。

県社協では、平成28年度から、立ち上げや子ども食堂をよりよくするための活動経費への助成を実施しており、今年度は3団体を支援したところです。

こうした子ども食堂が、地域の居場所として継続的・安定的に運営されるためにも、食材や運営資金の支援やボランティアなどの人材確保は重要な課題になっています。

加えて、地域の住民や関係者等が取組みへの理解を深め、地域ぐるみで子ども食堂を見守り、支えていく地域づくりも求められています。

《県内「子ども食堂」一覧》（月1回以上実施、県社協把握） ※詳細については各食堂へご確認ください。

ひまわり子ども食堂

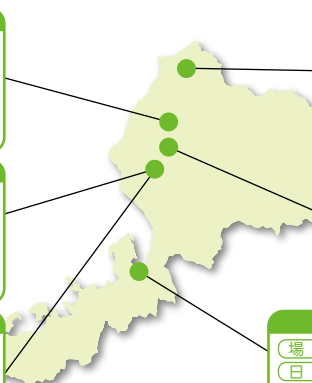
（場 所） 新田塚会館（福井市新田塚2丁目72-1）
 （日 時） 毎月第2水曜日 午後5時～午後8時
 （参加費） 子ども100円、大人300円
 （問合せ） 白崎順也氏（☎090-9442-6561）
 （開設日） H28.9.14

越前市「みんなの食堂」

（場 所） 野尻医院「てまり茶屋」内（越前市平出1-12-37）
 （日 時） 毎月第2、4水曜日 午後4時～午後8時
 （参加費） 子ども無料、大人300円
 （問合せ） 野尻富美氏（☎090-3769-4370）
 （開設日） H28.4.20

越前市「おうしお みんなの食堂」

（場 所） 向陽会館（越前市向陽町88）
 （日 時） 毎月第1、3水曜日 午後4時～午後8時
 （参加費） 子ども無料、大人300円
 （問合せ） 川崎一恵氏（☎090-4686-5066）
 （開設日） H28.11.16



子ども食堂 まる

（場 所） あわら敬愛子ども園（あわら市田中々3-7-6）
 （日 時） 毎月第2、4金曜日 午後5時～午後8時
 （参加費） 子ども100円、保護者200円、それ以外300円
 （問合せ） 渡邊一幸氏（☎090-6270-6474）
 （開設日） H28.1.22

寺子屋食堂さばえ

（場 所） 長久寺（鯖江市神明4丁目1-7）
 （日 時） 毎月1回 日曜日 午前11時半～午後2時
 （参加費） 子ども無料、大人200円
 （問合せ） 木村愛子氏（☎090-2036-1935）
 （開設日） H28.5.29

子ども食堂 青空

（場 所） 敦賀市男女共同参画センター2階（敦賀市三島町2丁目1-6）
 （日 時） 毎月第1、3水曜日 午後3時半～午後8時
 （参加費） 子ども無料、大人300円
 （問合せ） 中村幸恵氏（☎080-5857-5524）
 （開設日） H27.9.16

●子ども食堂を始めたきっかけ
 渡邊園長は、あわら市で認定こども園や児童福祉施設、高齢者施設を運営しながら、地域活動の一つとして、不登校の子たちと食事をしながらコミュニケーションを図るなど「食を通じた居場所づくり」に取り組まれています。

活動を続ける中で、社会福祉法人の地域貢献活動として出来ることを模索されていたところ、あわら市役所から、市内で子ども食堂を開設し

あわら敬愛子ども園
 園長 渡邊 一幸さん

今回のまち・ひと・キラリでは、社会福祉法人聖徳園の地域貢献活動として「子ども食堂まる」を運営している「あわら敬愛子ども園」の渡邊園長をご紹介します。

つないでキラリ
 まち・ひと・えが家

まち・ひと・キラリ☆

キラリワード
 地域貢献活動
 地域の居場所

●運営してよかったこと
 「なかなか登校できず家から出られなかった子が、子ども食堂への参加をきっかけに学校に行けるように

●運営にあたって
 渡邊園長は、「子ども食堂まる」への財政的・人的支援について、あわら市内の他のこども園にも呼びかけ、各園の保育教諭にボランティアとしての参加を呼びかけるとともに、市内の10か園が共同で取組む仕組みをつくりました。

場所は、あわら敬愛こども園の2階を利用し、夕方から調理室や遊び場を提供しています。

参加者は、日々の暮らしで様々な事情を抱えた子どもたちやその保護者などで、渡邊園長らが個別に声をかけるなどして参加を促しています。

たいと考えていた山崎さんと志田さん（両人とも、「こども食堂まる」の代表）を紹介され、2人の思いに共感した渡邊園長が、場所の提供と子ども食堂への財政的・人的支援を決断されました。

なつたと聞いたときは嬉しかった」と渡邊園長は目を細めます。

また毎回、元気に子ども食堂に来てくれる子どもたちの笑顔を見ると、次も頑張ろうと思われるそうです。

子ども食堂の運営にあたり、食材の寄付やボランティアの協力などから地域のつながりが深まっていることも実感されています。

●今後の展開
 「こども食堂まる」では、食への支援だけでなく、外国人との交流、レクリエーションを通じた子どもたちの居場所づくりにも取組まれています。今後も、気軽に子どもたちに来てもらえるよう、取組みの充実を図っていく予定です。

また、現在あわら市内の子どもの食堂は1か所ですが、「同じような思いを持った社会福祉法人とも連携しながら、地域ぐるみの活動に広がるよう仕掛けていきたい」と意欲的にお話をされていました。

県社協では、今後も子ども食堂等の活動との連携を図りながら、子どもの居場所づくりの課題に取組んでいきたいと考えています。

また、子ども食堂の活動からは、子どもやその世帯の抱える生活のしづらさが見えてきます。その課題を少しでも解決に導くため、一人ひとりの居場所と出番が地域の人たちによってつくられていくことを応援していきます。

介護福祉士等の離職時の届出制度スタート！



社会福祉法の改正により、平成 29 年 4 月から介護福祉士資格をお持ちの方は、離職時に都道府県福祉人材センターに届出ることが努力義務となりました。

また、これに伴い、介護福祉士以外の介護人材も、離職時に福祉人材センターに登録しておくことで、再就職に役立つ情報提供や再就職時の貸付等の各種支援事業が利用できますので、ぜひ届出をお願いします。

届出できる方

介護福祉士
介護職員初任者研修修了者
介護職員実務者研修修了者
旧ホームヘルパー養成研修 1 級・2 級課程修了者
旧介護職員基礎研修修了者

届出の方法

離職されたご本人が、インターネットや福祉人材センター窓口にて所定の届出票により行っていただきます。

インターネット登録の方

<http://www.nw.fukushi-work.jp/todokede/>

※届出票の様式を入手したい方は、福井県福祉人材センターまでお問合せいただくか、福井県社会福祉協議会のHP (<http://www.f-shakyo.or.jp>) をご覧ください。

ネット登録は
4月1日
スタート！



(福) 福井県社会福祉協議会 福井県福祉人材センター

〒910-8516 福井市光陽 2 丁目 3-22 県社会福祉センター内
TEL 0776-21-2294・28-3180 FAX 0776-24-4187

《介護の仕事を目指す人への貸付制度のご案内》

介護福祉士修学資金の貸付

介護福祉士養成施設に在学している方を対象に修学資金の貸付けを行い、介護福祉士の資格取得を支援します。

上記資格を取得後、県内の介護事業所等で **5 年間** 従事した場合、**貸付金の返還が全額免除**されます。

貸付額 修学資金 月額 5 万円以内
(無利子) 入学準備金 20 万円以内
就職準備金 20 万円以内
国家試験受験対策費
年額 4 万円以内 (上限 8 万円)

社会福祉士修学資金の貸付

社会福祉士養成施設に在学している方を対象に修学資金の貸付けを行い、社会福祉士の資格取得を支援します。

上記資格を取得後、県内の介護事業所等で **5 年間** 従事した場合、**貸付金の返還が全額免除**されます。

貸付額 修学資金 月額 5 万円以内
(無利子) 入学準備金 20 万円以内
就職準備金 20 万円以内

介護福祉士実務者研修受講資金の貸付

介護福祉士実務者研修施設に在学している方を対象に、実務者研修の受講料等の貸付けを行い、介護福祉士の資格取得を支援します。

上記資格を取得後、県内の介護事業所等で **2 年間** 従事した場合、**貸付金の返還が全額免除**されます。

貸付額 20 万円以内 (無利子)

離職した介護人材の再就職準備金の貸付

介護職員として一定の知識および経験を有する方を対象に、再就職するための準備金を貸付けます。

県内の介護事業所等で再就職後、**2 年間** 従事した場合、**貸付金の返還が全額免除**されます。

貸付額 20 万円以内 (無利子)

※上記の届出制度をご利用いただく必要があります

※平成 29 年度の貸付募集は 4 月からの予定です。

貸付要件などの詳細は、福井県社会福祉協議会HP または右記までお問合せください。 地域福祉課 電話 0776-24-4987

生活福祉資金貸付制度のご案内

みなさんは生活福祉資金貸付制度をご存じでしょうか？ 所得の少ない世帯、障がい者や介護を必要とする高齢者がいる世帯の生活の安定と経済的自立を図るために、資金をお貸しする制度です。

総合支援資金

失業者等生活全般に困難を抱えている方への生活再建までの間の生活費および一時的に必要な費用

福祉資金

(福祉費、緊急小口資金)

日常生活を送る上で、または自立した生活を送るために、一時的または緊急に必要な費用

教育支援資金

高等学校、大学、高等専門学校への就学に際し必要な費用と入学に際し必要な費用

不動産担保型生活資金

お住まいの居住用不動産を担保に将来にわたり住居に住み続けるために必要な費用

●利用できる世帯

生活福祉資金は、個人ではなく世帯を単位として貸付けします。

利用できる世帯	要件
低所得世帯	資金の貸付けにあわせて必要な支援を受けることにより独立自活できると認められる世帯で、独立自活に必要な資金の融通を他から受けることが困難であると認められる世帯。(所得制限があります。)
障がい者世帯	身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている方の属する世帯。
高齢者世帯	65歳以上の介護を必要とする方と共に生活している世帯。(所得制限があります。)

他の貸付制度(母子父子寡婦福祉資金、日本学生支援機構による第1種奨学金など)を利用することが可能な場合は、他制度を利用していただきます。また、貸付に際しては**その他の諸条件があります**。

貸付のお申し込みを希望される方は、最寄りの市町社会福祉協議会までお問い合わせください。

《保育の仕事を目指す人への貸付制度のご案内》

保育士修学資金の貸付

保育士養成施設に在学している方を対象に修学資金の貸付けを行い、保育士の資格取得を支援します。上記資格を取得後、県内の保育所等で**5年間**従事した場合、**貸付金の返還が全額免除**されます。

貸付額 修学資金 月額5万円以内(上限120万円)
(無利子) 入学準備金 20万円以内
就職準備金 20万円以内

保育士就職準備金の貸付

保育士の資格を有する方を対象に、再就職するための準備資金を貸付けます。

県内の保育所等で再就職後、**2年間**従事した場合、**貸付金の返還が全額免除**されます。

貸付額 20万円以内(無利子)

※金額についてはお問合せください

《ひとり親家庭の親や養護施設児童等への貸付制度のご案内》

ひとり親家庭職業訓練資金の貸付

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、資格取得を目指すひとり親家庭の方を対象に、養成機関の入学に必要な経費や養成機関修了後の就職に必要な経費を貸付けます。

養成機関で取得した資格が必要な業務に**5年間**従事した場合、**貸付金の返還が全額免除**されます。

貸付額 入学準備金 50万円以内
就職準備金 20万円以内
(連帯保証人あり：無利子)
(連帯保証人なし：年1.0%)

児童養護施設入所者自立支援資金の貸付

進学や就職により児童養護施設等を退所した方や里親等の委託を解除された方を対象に生活費や家賃を貸付けます。就職し**5年間**従事した場合、**貸付金の返還が全額免除**されます。

貸付額(無利子)

進学者 生活支援 月額5万円
家賃支援 住宅扶助額を上限
就職者 家賃支援 住宅扶助額を上限

児童養護施設等に入所している方や里親等に委託中の方を対象に、就職に必要な資格を取得するための費用を貸付けます。就職し**2年間**従事した場合、**貸付金の返還が全額免除**されます。

貸付額 資格取得支援 25万円以内(無利子)

「平成28年度市町村社協 トップセミナー・会長会研修」開催！

去る2月8日（水）「市町村社協トップセミナー・会長会研修」が福井市内で開催され、県内市町村社会福祉協議会の正副会長をはじめ役員約60名の参加がありました。

まずセミナーでは、全国社会福祉協議会の渋谷篤男常務理事に「社会福祉法人を取り巻く動向と今後の取組課題」と題し基調講演をいただきました。

渋谷常務は、社協のこれまでのあゆみを振り返るとともに、社協事業の全体像に触れ、「社協は、既存制度で対応できない困りごとに対し解決をはかる個別支援に取り組むことや、社会福祉法人の責務である地域公益活動への取組みが重要である」と説明されました。



渋谷常務基調講演

基調講演後のトークセッションでは、「10年後の福井県の地域福祉について考える」地域特性に応じた生

活課題への対応と包括支援体制づくり」と題し、県内2市町村社協からの実践報告をいただきました。

まず美浜町社協からは、生活困窮者支援に対する新しい体制づくりとして取り組んでいる「多機関協働による包括的支援体制構築事業について」、勝山市社協からは「みんなで見守り、支えあう、場づくり」として実施している地区社協を活かした新たな取組みについて報告をいただきました。



市町村社協からの実践報告

渋谷常務からは、厳しい財政状況の中で、財源確保も含め、工夫して事業に取り組む勝山市・美浜町の実践の評価とともに、こうした地域の「見守り・支援活動」の重要性と取り組みの広がりへの期待が寄せられました。

シリーズ

こちら経営相談室です！

社会福祉施設経営相談員が、事業運営や経理業務のポイントを解説します。

【勘定科目のつぶやき】その1

決算書は1年間の事業結果を財務諸表で示し、事業内容の結果報告に使用されます。

しかし、財務諸表等は単年度の結果報告に留まらず、過去年の動きとして捉えるならば、法人経営の将来性を検討する大きな材料となります。1つ1つの勘定科目が表すものを読み取り、独自の財政分析を行ってみてください。重点推進項目や改善項目等、法人の方向性に重大な内容を発見できるでしょう！

貸借対照表	資産	資産合計額の推移	事業運営の積極性が現れる。通常、社会福祉法人の資産総額は大きな変動はなく、施設整備等が主因と考えるが、増減内容を確実に把握することが重要。
		現金預金＋積立資産＝手元資金の推移	法人運営における資金繰りの安定度を余力状況として捉える。（余力あり：事業計画・施設整備・賃金改善等への対応力となる。）（余力なし：借入を準備し資金繰りに備え、弱点の改善策を図る。）
		現金預金の推移	法人運営の余裕度を検証。（サービス活動費用の2カ月分があれば安定）
		未収金の残高	未収となる期間と未収金となる金額を見込む。（サービス活動収益から）
	負債	借入金の推移	返済計画との整合性と借入依存度の確認が必要。
		1年以内の返済予定借入金	現金預金の残高と返済計画の安全性を短期的に捉える。
	自己資本	自己資本比率	運営の安定度判断の基準であり、長年努力した事業純益の積み上げ結果。
		国庫補助金等積立金	社会福祉法人会計独特の勘定科目。行政等補助金を一時的な収益とせず、減価償却負担の軽減目的とし減価償却費に対応する金額を取崩させ、耐用年数に分割して収益計上している。
貸借対照表と損益計算書	除く国庫補助金等積立金		補助金等を除いた、事業運営による資本蓄積の結果。
	資産総額比較とサービス活動収益		効率経営比較（投資資本の回転率）。営利企業とは異なるが、施設整備等においては社会福祉法人も効率化の意識は必要。
	施設整備積立資金と減価償却の関係		減価償却費として費用計上するが資金支出は伴わない。耐用年数経過後の再構築を考えると該当費用分は当該積立資産として確保して初めて資産減少を防ぐ状態となる。
	当期活動収支増減差額		当期活動収支差額は、当該年度の事業運営結果であり内部留保の源泉となる。（当期活動増減差額が資本充実・悪化に直結。）
当期活動収支増減差額の連続		事業運営の総括項目であり、推移する金額変動は特殊事情を確認して把握するための第一項目となる。特に赤字連続等は、要注意で早期の改善策が必要。	

社会福祉施設経営相談室 TEL：0776-24-2347 お気軽にご相談ください。

受講生募集

これからの生き方を学ぶ！ ラジオ放送講座 いきいきセミナー



自宅にしながら、医療・福祉・経済・文化などの各分野で活躍されている著名な方々のお話をラジオで聴ける番組です。

月額 400 円（テキスト代・郵送料）で受講生になると、講座をより分かりやすく楽しめるテキストを毎月、事前に送付します。また、放送後に感想文を提出すると、指導員が返信をお送りします。

受講生は、FBC ホームページ「ラジオ放送講座 いきいきセミナー」から過去の講座を試聴できます。

FBC ラジオ（福井 864kHz、敦賀・小浜 1557kHz）
毎週日曜日 午前 6：30～7：00 放送中

申込み先：地域福祉課 生きがい長寿G
電話：0776-24-2433

寄付・寄贈

2月6日（月）

贈呈者 一般社団法人
生命保険協会 福井県協会 様（福井市）
贈呈先 福祉巡回車（軽自動車 各1台）
勝山市社会福祉協議会
鯖江市社会福祉協議会
車いす（各2台）
みのりデイサービスセンターほか
金津雲雀ヶ丘寮デイサービスセンター
さつき苑デイサービスセンター
デイサービスセンターいまだて
あっとほ〜むいきいき館指定通所介護事業所



一般社団法人 生命保険協会 福井県協会 様

社会福祉事業の発展のために活用させていただきます。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

ボランティア活動保険

平成29年度

全国200万人
加入！！

保険金額

保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン
死亡保険金		1,320万円	1,800万円
後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
入院保険金日額		6,500円	10,000円
ケガの補償	手術 入院中の手術	65,000円	100,000円
	保険金 外來の手術	32,500円	50,000円
通院保険金日額		4,000円	6,000円
特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ	
葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料（1名あたり）

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引当幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL:03(3349)5137
受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(S)NK16-16921 2017.2.3作成

サキドリ情報

ラジオ放送講座「いきいきセミナー」 第2回 公開スクーリングのご案内

テーマ

「認知症になっても
あなたらしく・私らしく」

参加費無料

認知症の人も家族も自分らしく、安心して穏やかに暮らしていけるよう、認知症の理解深めるとともに、認知症の人への対応や具体的な接し方をみんなで学びましょう。

日 時 平成29年3月22日(水) 14:00～15:30

講 師 嶺北認知症疾患医療センター
松村 菜穂美 氏

会 場 福井県立図書館(福井市下馬)

定 員 100名(どなたでも参加できます)

申込み 福井県社会福祉協議会ホームページからチラシをダウンロードし、必要事項をご記入の上、地域福祉課までFAX/Eメールにてお申込みください。電話の場合は、氏名・年齢・連絡先等をお伝えください。

ホームページ: <http://www.f-shakyo.or.jp/>
電話: 0776-24-2433 FAX: 0776-24-0063
Eメール: sukoyaka@f-shakyo.or.jp

社会福祉法人監事の監査実務研修 ～適正な法人運営のためのチェックポイント～

日 時 平成29年4月20日(木) 10:00～16:00

会 場 福井県社会福祉センター(福井市光陽)

講 師 税理士法人 合同経営会計事務所
医療福祉介護グループ

【講義Ⅰ】税理士 竹澤 祥一氏

【講義Ⅱ、Ⅲ】中大路 進氏

カンジんな
ころを
押さえな
あカンサ!

内 容

時 間	内 容
10:00～12:00	【講義Ⅰ】 「社会福祉法人を取り巻く情勢と監事の重要性」
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～16:00	【講義Ⅱ】 社会福祉法人監査の目的と意義 【講義Ⅲ】 「監事監査における視点とチェックポイント」

受講対象者 社会福祉法人で監査の実務に携わる監事
および職員

受講料 6,000円/人(弁当代800円含む)

★詳細は人材研修課ホームページに掲載中!
(本研修は隔年開催予定)

問合せ先: 人材研修課 研修グループ

電話: 0776-21-2294

～平成29年度ケアマネ試験準備講習会のお知らせ～

- 5/13 スタート!
- 学びたい科目を自分で選んで受講できる!



福祉・介護職員の福利厚生は

ソウェルクラブに
おまかせ!

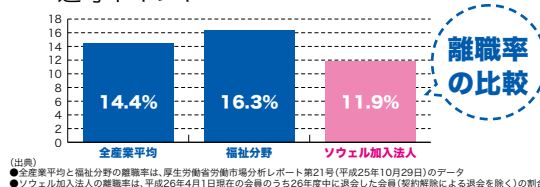
優秀な福祉・介護人材の確保・定着、心身のリフレッシュ、
ストレスの解消など魅力ある職場づくりにぜひ、
「ソウェルクラブ」をご活用ください。

ソウェルクラブの仕組み(加入要件)

- 契約対象者 社会福祉事業または介護保険事業を
経営する者
- 加入対象者 社会福祉事業等を経営する法人内の
役職員全員(非常勤職員を含む)
- 掛 金 1人あたり毎年度 **1万円**
※非常勤職員は、1万円もしくは5千円
(指定するサービスのみ利用可)の選択制

加入のメリット

- 契約対象者
 - ・会員数 **25万人超**(平成28年4月現在)のスケール
メリットを最大限に活かし、法人単独では実現
できないサービスを提供
- 多種多様なサービスの提供
 - ・女性にも男性にも、若い人にも年配の人にも、
ご家族でもご利用いただけるサービス
 - ・会員交流事業など、それぞれの地域ニーズに
合ったサービス
 - ・社会福祉関係者のための、職場で役立つ講習会
 - ・職員個々人の選択の幅が広がるサービス
- 魅力ある職場づくり
 - ・職員の心身のリフレッシュやストレス解消
 - ・職員の就労意欲の高揚
- 質の高い人材の確保・定着
 - ・福祉・介護の職場への就職に当たっては、福利
厚生の充実が、賃金や労働時間の次に重要な
選考ポイント



活用して
みませんか？

社会福祉関連民間助成事業の紹介

企業や団体の中には福祉団体やボランティアグループ等を対象に様々な助成事業を行っているところがあります。各団体より本会に周知依頼のあったものについてご紹介します。助成金を上手に活用して、活動のさらなる発展にご活用ください。情報が変更になる可能性がありますので、問い合わせ・応募にあたっては、各民間助成団体のホームページや募集要項を事前にご確認ください。

※以下の一覧表は、本会ホームページ（<http://www.f-shakyo.or.jp/>）からダウンロードできます。

【平成 28 年度実績】

名 称	助成対象	助成対象事業	助成額	申込締切	問合せ先（TEL）
全労災 「地域貢献助成事業」	NPO 法人、任意団体、市民団体等	地域の生態系を守る活動、子どもや親子の孤立を防ぎ、地域とのつながりを生み出す活動、困難を抱える子ども・親がたすけあい、生きる力を育む活動等。	30 万円	4 月上旬	全労災 地域貢献助成事業局 03-3299-0161
福井県しあわせ福祉資金	非営利団体（ボランティア団体、市民活動団体、NPO 法人等）	社会的支援を必要とする障がい者、高齢者などの社会参加を促す事業等。	20 万円	4 月末日	福井県地域福祉課 地域健康福祉グループ 0776-20-0326
福井県子どもしあわせ福祉資金	非営利団体（ボランティア団体、市民活動団体、NPO 法人等）	子どもへの直接的支援や子どもの環境向上のための事業等。	50 万円	4 月末日	福井県地域福祉課 地域健康福祉グループ 0776-20-0326
福祉医療機構 「社会福祉振興助成事業」	民間の非営利活動団体・グループ	地域連携活動支援事業 全国的・広域的ネットワーク活動支援事業	各部門別に助成限度額を設けている	4 月末日	（独）福祉医療機構 03-3438-4756
福井県社会福祉協議会 「まごころ基金助成」	民間の非営利活動団体・グループ（法人格の有無は不問）	高齢者・障がい者・児童の福祉の充実を図ることを目的とする事業。	20 万円	5 月下旬	（福）福井県社会福祉協議会 0776-24-2339
みずほ教育福祉財団 「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」	高齢者を主な対象として活動するボランティアグループ	高齢者の日常生活援助、生活環境の向上、レクリエーション、他世代との交流を図る等のボランティア活動。	10 万円	5 月下旬	（公財）みずほ教育福祉財団 03-3596-4532
日本おもちゃ図書館財団 「おもちゃ等の購入助成事業」	おもちゃ図書館を運営する団体	おもちゃの購入、手作りおもちゃのための材料、おもちゃ図書館整備のためのカーペット、おもちゃ格納戸棚、おもちゃ陳列棚の購入に要する費用。	A 申請・・・ おもちゃセット（10 万円相当） B 申請・・・ おもちゃセット（20 万円相当） と開設費用（10 万円以内）	5 月下旬	（一財）日本おもちゃ図書館財団 03-6435-2842
大同生命厚生事業団 「地域保健福祉研究助成」	保健・医療・福祉の実務従事者等	地域保健及び福祉に関する研究等。	30 万円	5 月末日	（公財）大同生命厚生事業団 06-6447-7101
大同生命厚生事業団 「サラリーマン（ウーマン）ボランティア活動助成」	社会福祉分野のボランティア個人・グループ	高齢者・障がい者福祉に関するボランティア活動。子どもの健全な心を養うための交流ボランティア活動。	10 万円	5 月末日	（公財）大同生命厚生事業団 06-6447-7101
大同生命厚生事業団 「シニア・ボランティア活動助成」	社会福祉分野のボランティア個人（年齢 60 歳以上）・グループ	高齢者・障がい者福祉に関するボランティア活動。子どもの健全な心を養うための交流ボランティア活動。	10 万円	5 月末日	（公財）大同生命厚生事業団 06-6447-7101
丸紅基金 「社会福祉助成金」	非営利法人	社会福祉事業（福祉施設の運営、福祉活動など）を行う民間の団体が企画する事業。	200 万円	5 月末日	（福）丸紅基金 03-3282-7591
毎日新聞東京社会事業団 「毎日社会福祉顕彰」推薦	社会福祉関係者および団体等	社会貢献の功績、特定分野の功績。	賞碑および賞金 100 万円	5 月末日	（公財）毎日新聞東京社会事業団 03-3213-2674
ニッセイ財団 「高齢社会助成」	①社会福祉法人、NPO 法人等 ②研究者、実践家等	①地域福祉チャレンジ活動助成…地域包括ケアシステムの展開につながる活動等（テーマは要項参照）。 ②実践的研究助成…実践的研究助成対象分野・テーマ（要項参照）に対する課題を明確にした実践的研究等。	各部門別に助成限度額を設けている	① 5 月末日 ② 6 月中旬	（公財）ニッセイ財団 06-6204-4013
読売新聞社 「よみうり子育て応援団大賞」	子どもや親を対象にした支援活動を行う民間のグループ、団体	子育てサークル、男性の育児参加などの活動。	大賞・・・ 賞金 200 万円 奨励賞・・・ 賞金 100 万円	6 月上旬	読売新聞大本社「よみうり子育て応援団大賞」事務局 06-6881-7228
みずほ教育福祉財団 「配食用小型電気自動車寄贈事業」	ボランティアグループ、NPO 法人等	高齢者向け配食サービス	1 台総額 100 万円	6 月上旬	（公財）みずほ教育福祉財団 03-3596-4532
（社）読売光と愛の事業団 「生き生きチャレンジ事業」	地域活動支援センター、福祉作業所など	食品の製造・販売、レストランやカフェなど飲食店の運営など「食」にかかわる事業の取り組み、工賃アップを目指す福祉作業所など。	上限 100 万円	6 月上旬	読売光と愛の事業団・作業所係 03-3217-3473
日本財団 「福祉車両助成事業」	非営利団体等	在宅サービス、通所サービス、就労支援のための車両配備。	当該財団指定車種から希望車両を選ぶラインナップ型	6 月末日	（公財）日本財団 03-6229-5163
伊藤忠記念財団 「子ども文庫助成」	ボランティア団体、個人	子ども達の読書啓発活動、指導等。	各部門別に助成限度額を設けている	6 月末日	（公社）読書推進運動協議会 03-3260-3071
太陽生命厚生財団 「社会福祉助成事業」	ボランティアグループ、NPO 法人等（法人格の有無は不問）	在宅高齢者、在宅障がい者の自助・自立を支援する事業等。 老人保健、高齢者福祉に関する研究・調査。	各部門別に助成限度額を設けている	6 月末日	（公財）太陽生命厚生財団 03-6674-1217
生命保険協会 「子育てと仕事の両立支援に対する助成活動」	社会福祉法人、株式会社、NPO 法人等	（1）保育所設置にかかる初期費用等。 （2）保育対策等促進事業に必要な設備の整備、備品購入に係る費用等。 （3）放課後児童クラブの受け皿拡大や質の向上に必要な設備の整備、備品購入に係る費用等。	（1）上限 350 万円 （2）上限 35 万円 （3）上限 20 万円	6 月末日	（一社）生命保険協会 広報部内「子育てと仕事の両立支援」事務局 03-3286-2643
みずほ福祉助成財団 「社会福祉助成金」	非営利法人、任意団体、ボランティアグループ等または研究グループ（個人を除く）	障がい児者の福祉向上を目的とする事業および研究。	事業助成・・・ 20～100 万円 研究助成・・・ 100 万円	6 月末日	（公財）みずほ福祉助成財団 03-3596-5633
清水基金 「一般助成事業」	障がい児・者の各関係施設を運営する民間社会福祉法人	利用者のために必要な建物（新築、改修、増改築）・車両・機器等。	上限 800 万円	7 月末日	（福）清水基金 03-3273-3503
松翁会 「社会福祉助成事業」	法人施設、団体（個人は不可）	社会福祉に関する民間の事業、研究等。	60 万円	7 月末日	（一財）松翁会 03-3201-3225

名 称	助成対象	助成対象事業	助成額	申込締切	問合せ先（TEL）
朝日新聞厚生文化事業団 「児童養護施設・里親家庭の高校生進学応援金」	児童養護施設および里親家庭で生活し、2017年4月に進学希望している高校生。	学生応援金・・・4年制大学、短期大学、専門学校の卒業するまでの学費支援	60万円 (最大240万円)	8月中旬	(福)朝日新聞厚生文化事業団 「進学応援金」係 03-5540-7446
植山つる 「児童福祉研究奨励基金」	児童福祉施設に働く職員（個人・施設・グループ・団体）	研究A・・・児童福祉に関する自主研究 研究B・・・児童福祉に関する自主研究でさらに成果を発展させるための共同研究	研究A・・・20万円 研究B・・・100万円	9月上旬	(福)全国社会福祉協議会児童部 03-3581-6503
大和証券福祉財団 「ボランティア活動助成」	ボランティア団体・グループ	高齢者、障がい児・者、児童への支援活動およびその他、社会的意識の高いボランティア活動。	30万円	9月中旬	(公財)大和証券福祉財団 03-5555-4640
日本たばこ産業 「NPO助成事業」	1年以上の活動実績をもつ非営利法人	地域と一体となって「地域コミュニティの再生と活性化」に取り組む事業等。	上限150万円	10月中旬	日本たばこ産業㈱ 03-5572-4290
生命保険協会 「元氣シニア応援団体に対する助成活動」	非営利の民間団体・グループ（NPO法人含む）	高齢者を対象にした健康管理、増進、自立支援、生きがいづくりを目的とする事業等。	15万円	10月末日	(一社)生命保険協会 03-3286-2643
キリン福祉財団 「キリン・シルバー「力」応援事業公募助成」	65歳以上のメンバーが中心となって活動する4名以上のグループ	高齢者が、地域のために、その知識・技術・経験を活用するグループによるボランティア活動。	30万円	10月末日	(公財)キリン福祉財団 03-6837-7013
北陸労働金庫 「NPO助成金制度」	NPO法人、ボランティア団体等	環境、国際交流・国際協力、社会福祉、まちづくり、安心・安全活動など。	30万円	10月末日	北陸労働金庫 076-231-2165
キリン福祉財団 「キリン・子育て応援事業公募助成」	18歳以下のメンバーが中心となって活動する4名以上のグループ	地域における子育てに関わるボランティア活動。	30万円	11月上旬	(公財)キリン福祉財団 03-6837-7013
アイシングループ 「オールアイシンNPO活動応援基金」	営利を目的としない団体・組織	社会福祉活動の推進、地域発展、まちづくりの推進、青少年育成活動の推進、自然・環境保護活動の推進等。	10万円	11月中旬	オールアイシンNPO活動応援基金福井事務局 0778-25-7616
日本郵便株式会社 「年賀寄附金配分金」	営利を目的としない公益の増進に寄与する法人格を持つ団体	社会福祉の増進を目的とする事業等。	各部門別に助成限度額を設けている	11月中旬	日本郵便㈱ 年賀寄附金事務局 03-3504-4401
楽天 未来のつばさ 「自立奨学支援資金」	児童養護施設または里親家庭で生活する児童	18歳を迎え進学・就職する児童の自立支援事業。	就職・進学支度金 15万円	12月中旬	(公財)楽天 未来のつばさ財団 03-5642-7890
コーポレートガバナンス協会 「北川奨励賞」	難病や障がいをもつ子どもとその家族対象のボランティアグループ、個人	難病や障がいをもつ子どもとその家族の支援に対する社会医学的な実践、セルフヘルプ活動、ボランティア活動等。	50万円	1月中旬	(特非)コーポレートガバナンス協会 北川奨励賞事務局 045-263-6965
環境再生保全機構 「地球環境基金助成金」	一般社団法人、一般財団法人、NPO法人等	開発途上地域又は日本国内で実施する環境保全活動等。	各部門別に助成限度額を設けている	1月中旬	(独)環境再生保全機構 044-520-9505
三菱財団 「社会福祉事業」 「研究助成」	社会福祉を目的とする民間の事業（法人）、調査研究（個人、法人）	開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業、社会福祉に関する調査研究等。	総額 8,200万円	1月中旬	(公財)三菱財団 03-3214-5754
福井県民生活協同組合 「市民活動助成金」	非営利の任意団体等。 (福井県民生活協同組合員が1名以上参加していること)	「食育」「環境」「福祉」「子育て支援」などの社会貢献活動。	10万円	1月末日	福井県民生活協同組合 組織ネットワーク支援部 0120-016-165
福祉医療機構（モデル事業） 「「居場所」運営を通じた子育て・子育て環境向上事業」	民間の非営利活動団体・グループ	子育て中の家庭を対象とした地域の居場所運営等。	各部門別に助成限度額を設けている	2月上旬	(独)福祉医療機構 03-3438-4756
げんでんふれあい福井財団 「助成事業」	ボランティア団体等	ボランティア団体等の活動に関する事業。	10万円	3月中旬	(公財)げんでんふれあい福井財団 0770-21-0291
日本おもちゃ図書館財団 「老人ホーム等社会福祉施設におもちゃ図書館開設支援事業」	老人ホーム等社会福祉施設におもちゃ図書館を開設予定の団体	おもちゃ図書館開設支援事業。	おもちゃセット(20万円相当)と開設費用(10万円以内)	3月末日	(一財)日本おもちゃ図書館財団 03-6435-2842
NHK 厚生文化事業団 「地域福祉を支援するわかば基金」	地域で活発な福祉活動を進めるグループ（NPO法人含む）	高齢者、障がい者の日常生活支援活動等。 地域の高齢者や障がい者へのパソコン指導等。	第1部門・・・ 100万円 第2部門・・・ リサイクルパソコン	3月末日	(福)NHK厚生文化事業団 03-3476-5955

福井県共同募金会が受け付けしている助成事業

詳しくは、福井県共同募金会までお問合せください。〔TEL：0776 - 22 - 1657 ホームページアドレス：http://akaihane-fukui.jp/〕

名 称	助成対象	助成対象分野、条件等	助成額	申込締切	決定（内定）
共同募金助成金（広域助成）	福井を良くしようとがんばっている団体	平成30年度に計画する活動費、備品、建物整備	50万円以内 設備整備は 200万円以内	5月下旬	8月下旬
先駆的・開拓的活動支援事業		平成 30 年度に実施する先駆的・開拓的な福祉事業を支援	50万円以内		
ステップアップ助成事業		平成 29 年、平成 30 年度と 2 年間継続して助成が必要な事業			
災害等準備金の取崩し助成事業		大規模災害に備えた事業や研修会、緊急に助成が必要な事業			
小林福祉基金の助成事業	身体障害者施設	福祉向上のために実施する事業、備品			
共同募金助成金（地域助成）	地域（市町）を良くしようとがんばっている団体	※期間や助成内容は市町で異なる場合があります。 詳細は各市町共同募金委員会（市町社協）にお問い合わせください。		5月	8月
NHK歳末たすけあい	支援を必要とする方々を対象とした事業をおこなう団体	①歳末ふれあい事業 ②地域福祉事業 ③地域福祉備品	50万円以内	10月中旬	12月上旬
車両競技公益資金記念財団	ボランティア団体	ボランティアに必要な備品	90万円以内	7月下旬	9月下旬
	保育所	補修・改修	300万円以内		
中央競馬馬主社会福祉財団 施設設備等助成事業	社会福祉法人、NPO 法人	車両、備品の購入および施設修繕等	100万円以内	5月下旬	7月中旬